

山川健次郎氏 と飯盛山整備

整備当時の飯盛山墓地とさざえ堂

整備当時の飯盛山墓地、墓は鶴ヶ城を向く



戸ノ口堰洞門



会津婦人殉難碑



白虎隊が自刃した当時の服装。
すべて黒の洋装です。

白虎隊がくぐった飯盛山の洞門は、現在長さ約180メートル。当時は約140メートル。1968年8月23日(新暦では10月8日)戸ノ口原で戦い、この洞門を通り、飯盛山中腹にある自刃の松まで行く。16人が自刃し、飯沼貞吉(貞雄)だけが生き残る。後で一人追加となる。

- ・明治4年、斗南に白虎隊16士が祭祀される。
- ・明治7年、滝沢の妙国寺から改葬。7回忌、遺骸会葬をする。
- ・明治17年旧8月25日、16士の墓を整備し17回忌。松平容保公も臨席する。19人の剣舞奉納。
- ・明治19年9月、招魂碑が建てられる。
- ・明治23年、墓が整備され23回忌、19士の墓ができる。
- ・明治33年、33回忌、31士の墓が建てられる。容保公の歌「幾人の涙は石にそそぐとも その名はよゝに朽ちじとぞ思う」が建てられる。八田宗吉建立。
- ・明治38年、文部省唱歌に19士として全国の小学校で歌われる。
- ・大正3年4月、白虎隊殉難詩碑が建てられる。
- ・大正6年、財団法人会津弔霊議会の設立が認可される。
- ・大正14年12月から翌年3月、市内の学校、軍隊、消防団等延べ5200人で墓前広場が整備される。
- ・大正15年5月28日、竣工式。参会者1万人。健次郎が、東武鉄道の根津嘉一郎に頼み、資金調達をし、整備趣意書を若松市長の松江豊寿に委ね、自ら募金趣意書を起草する。根津が9千円、健次郎が千円を寄付。5月17日、朝日新聞の杉村楚人冠が自然破壊だとして注文を付け、新聞の論争となり6回書かれる。
- ・昭和3年4月、会津婦人殉難碑が山川健次郎によって建てられる。9月28日、秩父宮殿下と勢津子妃が結婚。
- ・昭和3年12月1日。伊国、ムツリニ首相より古代遺跡の石柱が送られ。除幕式となる。伊国大使、高松宮殿下、近衛文麿らが参列。
- ・昭和12年6月、ドイツより記念碑が贈呈される。終戦後、文字が削られるも28年に再刻。
- ・昭和32年、飯沼貞雄の墓が建てられる。

写真・文責 石田明夫

